



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ミツ星

コード番号 5820 URL <http://www.kk-mitsuboshi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 塚本 聡一郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 金城 安弘

TEL 06-6762-6939

四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	2,095	△10.9	111	157.1	105	128.7	46	25.3
28年3月期第1四半期	2,352	5.8	43	28.0	46	150.4	36	40.4

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 25百万円 (△42.9%) 28年3月期第1四半期 45百万円 (△0.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	8.06	—
28年3月期第1四半期	6.43	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	9,099	4,262	46.8	746.26
28年3月期	9,374	4,282	45.7	749.72

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 4,262百万円 28年3月期 4,282百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,550	△4.9	160	76.0	155	77.4	110	71.2	19.26
通期	9,190	△2.6	335	32.1	330	50.2	235	101.1	41.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	6,333,276 株	28年3月期	6,333,276 株
29年3月期1Q	621,048 株	28年3月期	621,048 株
29年3月期1Q	5,712,228 株	28年3月期1Q	5,713,004 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復傾向にあるものの、現状は次第に不透明感が増してきているものと思われまます。輸出・生産は横ばい圏で推移しており、雇用・所得が堅調な推移にある反面、個人消費は依然として弱含みが続いています。また消費者物価は前年割れが続いています。

一方、海外経済については、米国は個人消費が景気を下支えするとみられます。ユーロ圏については英国のEU離脱に伴う先行きの不透明感による影響で回復は緩やかなものにとどまることが予想され慎重な対応を迫られてきております。

当社グループに関連する経営環境につきましては、海外経済の減速などを受けて企業収益が足踏みするなか、設備投資計画は短期的には設備投資を先送りする企業もあると思われまますが、維持更新投資を中心に緩やかに回復することが予想されます。個人消費は消費者マインドに足踏みがみられますが、おおむね横ばいとなっています。また、公共投資は、緩やかな減少傾向にあります。

このような状況の中、新規得意先の開拓及び既存得意先の深耕、新製品開発の推進、そして徹底した合理化によるコスト削減等の展開を図りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,095百万円（前年同期比10.9%減）、利益面につきましては、電線事業、ポリマテック事業および電熱線事業共に前年同期比増加したことでグループ全体での営業利益は111百万円（前年同期比157.1%増）、経常利益は、105百万円（前年同期比128.7%増）、また親会社株主に帰属する四半期純利益は、46百万円（前年同期比25.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### [電線]

当事業の主要な市場である建設・電販向けの売上は、公共事業・設備投資の停滞を背景に、ゴム電線、プラスチック電線共に前年比減少基調で推移し、また銅価格が前年よりも大幅にダウンしている影響で売上高は1,372百万円（前年同期比13.4%減）と減少しました。

利益面につきましては、コスト削減の取り組みの結果、セグメント利益は73百万円（前年同期比76.1%増）となりました。

#### [ポリマテック]

当事業は、新設住宅着工件数が増加しているなか、既存顧客への拡販及び新規顧客獲得等に注力しましたが、MITSUBOSHI THAI CO., LTD. の売上が無くなった事から全体の売上高は565百万円（前年同期比6.6%減）となりました。

利益面につきましては、生産性の改善や材料ロスの低減、コスト削減に取り組んだ結果、セグメント利益は21百万円（前年同期セグメント利益0百万円）と大幅な改善となりました。

#### [電熱線]

当事業の主要な市場である白物家電向けヒーター用途において、一部海外品が流入してきたことにより受注が減少しました。白物家電用途以外での新規開拓にも注力いたしましたが、落ち込みをカバーすることができず、売上高は156百万円（前年同期比3.6%減）となりました。

利益面につきましては、効率性を追求した生産体制への移行による固定費の削減に取り組んだ結果、セグメント利益は16百万円（前年同期セグメント利益0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は5,856百万円となり、前連結会計年度末と比べ164百万円減少しました。これは主に現金及び預金が104百万円、受取手形及び売掛金が75百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は3,243百万円となり、前連結会計年度末に比べ109百万円減少しました。これは主に投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が54百万円減少、投資有価証券が38百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は9,099百万円となり、前連結会計年度末に比べ274百万円減少となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,777百万円となり、前連結会計年度末に比べ110百万円減少しました。これは主に賞与引当金が38百万円、電子記録債務が36百万円、流動負債のその他に含まれる未払金が34百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は2,059百万円となり、前連結会計年度末に比べ143百万円減少しました。これは主に長期借入金が157百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、4,837百万円となり前連結会計年度末に比べ254百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は4,262百万円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円減少しました。これは主にその他有価証券評価差額金が19百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は46.8%（前連結会計年度末は45.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年5月13日公表の決算短信に記載しております連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,455,210	1,351,166
受取手形及び売掛金	2,862,267	2,786,774
電子記録債権	261,601	244,648
商品及び製品	906,368	931,623
仕掛品	207,674	205,180
原材料及び貯蔵品	240,209	221,707
その他	87,652	115,101
流動資産合計	6,020,984	5,856,202
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,879,886	1,877,436
その他(純額)	753,517	733,791
有形固定資産合計	2,633,403	2,611,227
無形固定資産		
	32,116	39,805
投資その他の資産		
投資有価証券	465,771	427,363
関係会社長期貸付金	165,311	—
その他	225,688	168,791
貸倒引当金	△169,201	△3,575
投資その他の資産合計	687,569	592,580
固定資産合計	3,353,090	3,243,614
資産合計	9,374,074	9,099,816
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,035,533	1,010,563
電子記録債務	444,364	407,539
短期借入金	352,121	351,342
未払費用	28,406	98,117
未払法人税等	26,882	6,352
賞与引当金	75,207	36,659
その他	926,211	867,167
流動負債合計	2,888,727	2,777,742
固定負債		
長期借入金	1,603,823	1,446,054
長期未払金	233,170	232,916
退職給付に係る負債	311,327	309,978
その他	54,429	70,329
固定負債合計	2,202,751	2,059,279
負債合計	5,091,478	4,837,022

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,136,518	1,136,518
資本剰余金	1,133,596	1,133,596
利益剰余金	1,987,653	1,988,009
自己株式	△149,690	△149,690
株主資本合計	4,108,077	4,108,433
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	142,478	122,548
為替換算調整勘定	26,743	24,993
退職給付に係る調整累計額	5,295	6,818
その他の包括利益累計額合計	174,517	154,361
純資産合計	4,282,595	4,262,794
負債純資産合計	9,374,074	9,099,816

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	2,352,438	2,095,343
売上原価	1,947,626	1,640,039
売上総利益	404,812	455,304
販売費及び一般管理費	361,536	344,022
営業利益	43,275	111,282
営業外収益		
受取利息	87	926
受取配当金	5,387	5,245
受取家賃	2,407	2,245
仕入割引	2,261	1,575
為替差益	2,524	—
その他	2,703	2,168
営業外収益合計	15,371	12,161
営業外費用		
支払利息	6,495	4,840
売上割引	5,073	4,394
為替差損	—	7,745
その他	939	936
営業外費用合計	12,508	17,917
経常利益	46,138	105,526
特別損失		
固定資産除却損	119	—
投資有価証券売却損	1,723	3,838
特別損失合計	1,842	3,838
税金等調整前四半期純利益	44,295	101,687
法人税、住民税及び事業税	8,048	6,394
法人税等調整額	△514	49,238
法人税等合計	7,533	55,633
四半期純利益	36,762	46,053
親会社株主に帰属する四半期純利益	36,762	46,053



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	36,762	46,053
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,464	△19,930
為替換算調整勘定	△1,271	△1,750
退職給付に係る調整額	428	1,523
その他の包括利益合計	8,621	△20,156
四半期包括利益	45,383	25,897
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	45,383	25,897

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	電線	ポリマテック	電熱線	
売上高				
外部顧客への売上高	1,584,491	605,553	162,392	2,352,438
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	35	35
計	1,584,491	605,553	162,427	2,352,473
セグメント利益	41,933	536	805	43,275

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	電線	ポリマテック	電熱線	
売上高				
外部顧客への売上高	1,372,918	565,840	156,584	2,095,343
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,372,918	565,840	156,584	2,095,343
セグメント利益	73,864	21,125	16,291	111,282

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。